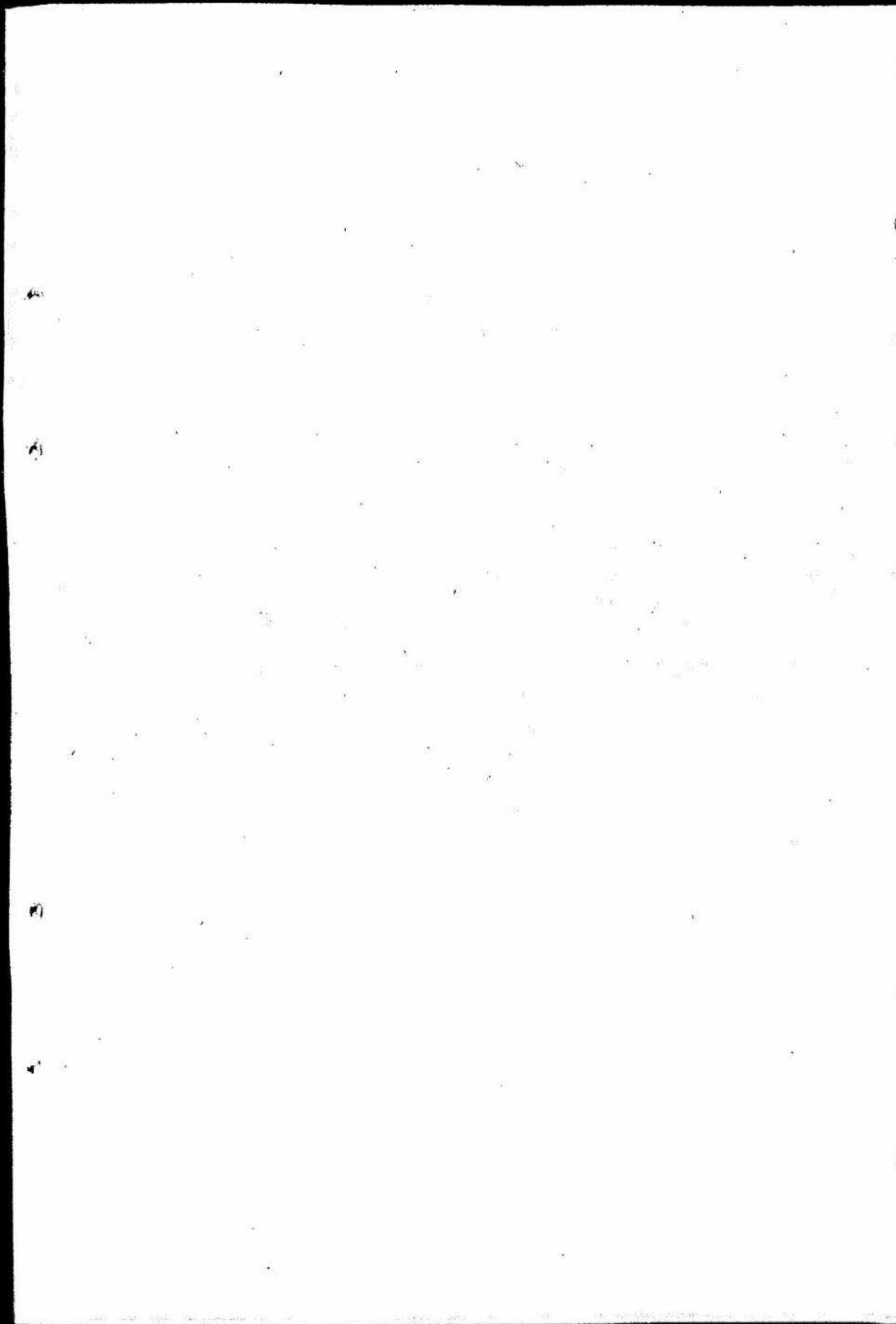


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 3 5

国立公文書館	
分類	③ ④
	3 A
排架番号	15
	62-14

62-14



79

現用

局外往復書類

野島崎燈臺

国立公文書館	
分類	④ ⑤
	3 A
配架番号	15
	62-14

裏面白紙

裏面白紙

共第二號

航路標識管理所

電話機械ノ保管證

一 背面板 走付

一 電話器 走付

一 受話器 走付

一 電鈴 走付

一 扇形轉電器 走付

一 加蓋保安器 走付

右係及仕也

野島塔燈台所長

南田典市郎

大正十一年 月 日

通信司

千葉技術生協所 吉岡殿

(大正十三年五月高津納)

第 號

裏面白紙

航空標識管理所

別外

大正十三年十二月四日

野村清太郎君宛 田中三郎

一葉電信電話技術官駐在所

通信局技手吉田秀三殿

電信機一時取除方一件

本日電信局昨年大震災のため大規模な修理に際し、本電中
に架設した電信機取外相移し得る事、事落成
り上、亦、本電が空力信号局出張所、何れも取付ル様
相移し、先月、目下建築工事、支障有之、其、本電
中、取外方、取申上、事、

裏面白紙

鐵路標識管理所

李由請憲東 由通 總司 充 方所 月 日

千壽電信電話技術官駐在所

慶隆機 時前外 方 份

本具心時年大震為大破壞ノ度今般復向ノ事申テ
豫多架没ノ慶隆機取外相成ニ持集ノ事為成上
事務室手續並見張所ノ何レ方取付ル様可相成
目下建築ノ事ニ支障有之事當今月津ニ成致外方
成候申上之矣

裏面白紙

航路標識管理所

大正十二年十二月四日

野島崎燈台看管長 南田忠太郎

東京逓信局長殿

千葉電信電報技術研究所

連信の概年一書回者殿

慶信機一時取外方人件

岸見山崎年大震為大破壊ノ處今般復向ノ事申シテ
慶信機取外相成及持来ノ事為成
事務室手信号見張所何レ方取付ル様可相成也
目下建築ノ事支障有之事言申月申成取外方
成候申上之末



裏面白紙

航路標識管理所

房野簿 一七 號

大正十四年八月五日

角田 雄次郎

東京通信同成中

電報機 取付方 1 件

昭和十一年四月四日以下本屋電報機一時取除方申請
被^取目下工事 진행 致^し 夫^二付^一 電報機 取付^の
差^別 附^き 夫^二条^一 局^部 止^む 故^に 其^の 事^業 取^扱 務^を 承^担 せ^ら ば^す

千原才 辨 大正十四年八月二十四日
千原電信電話技術管理事務所

郵便局長殿

物品修繕要求書提出方針

従来電信電話機械類修繕要求書方針之定、様式ヲ處理上
支障有之候ニ付自今左記様式ニ依テ提出相成度

査辨

大正十四年八月 日
局 長

千原電信電話技術管理事務所
物品修繕要求書 (記入例)

品名	数量	毀損情形	備考
接續機	一	送電機不良	把子付
送電機	一	送電機不良	把子付
送電機	一	送電機不良	把子付

送電機修繕要求書提出方針ニ依リ、修理
要書提出、正副二連作製、手

裏面白紙

共第二號

航路標識管理所

第 四 六 號

看字長 角田照平

千葉電信電話技術庫駐在所印

電話材料 購置報告

本圖屋ハハ電話器要之貯藏材料一切之
及本力倉及報告云々

(大正十三年五月高津繪)

裏面白紙

共第一號文華納

燈臺局

公研簿 七 歸 回 卷

昭和參年貳月廿九日

野島燈臺局

千葉電信電話技術官駐在所

電話用不良機械類ニ関スル件

右調査矣処当局現用予備品トモ不良品及毀損品無之矣也

葉

野野簿 二二 簿

報告

昭和四年七月二日

野島崎燈臺

石井

東京
逓信局 經理課 第二調理係 中

電話機械 美予備品等 報告 件

記

昭和四年三月廿日 現在高報告

野島崎局

口田	名	越	高	受	方	拂	方	残	高	備	品
テニール	電	話	器	界	電	話	器	界	電	話	器
炭	素	粉	炭	素	粉	炭	素	粉	炭	素	粉
ニ	酸	化	満	備	ニ	酸	化	満	備	ニ	酸
電	池	用	電	池	用	電	池	用	電	池	用
サ	ル	モ	ニ	ヤ	ツ	サ	ル	モ	ニ	ヤ	ツ

100	200	100	0	0	0	0	50	50	50	50	50
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	100	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50



本件昭和四年六月廿九日經第壹七號之旨提出不
但五月四日照牙壹參號及六月四日照牙壹五號
及六月廿五日照牙壹六號等之通信局報從前
本台之配付每一之付不明及書式等不明為便宜
記載致之矣也

裏面白紙

三事四日六日屬寸

郵外

昭和三年四月廿五

野島崎町長殿

千草堂在修繕室

修繕物に要求書を交し、得
るが、提出の修繕物に、西の求書に
一、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

裏面白紙

沈
號

品
名
位
數
量
毀
損
所
備

考

右修繕相成度及要承候
年月日

局長

千葉校術官駐在所 御中

修繕請口件及返渡矣
年月日

千葉校術官駐在所

局長殿

右領收矣也
年月日

局長

千葉校術官駐在所 御中

昭和參年貳月廿日

千葉電報局 調査所

野島崎郵便局長 殿

電話用不良機械類ニ用ニ件

調査上必要有之候余貴局電話用機械類
中永年使用結果毀損甚クシク修理不
能ニ至ル旨取調ニ付 此様式ニ依
テ前未口迄ニ報告相成ニ付

託

品名	数量	使用ニ付 ハシ ル 元	大修理 元 小修理 元	合上修理費 元	備考

能入心得

一本表ハ昭和參年十二月末日現在ノ以テ調査スル
一本表ハ貴局由電報通信所及ハ備備スル
必要ナル合ニ付之ヲ記載スル下

以上

葛公手書

終身忘七號

昭和四年六月廿九日
總理課長

電信局治部路機械修繕局本局交付在修教
是日調書提出，件

(電信局治部路機械修繕局及電信局)督促
用示三年未現化教報告(ト)督促

八月廿四日照本局修繕本局廿四日照本局五號
及本月廿五日照本局修繕(修繕)以下提出
督促/於今日提出本局之修理上又降下本局以各
轉多提出本局

通事信

出寄
録

茅

(兩信選京東)

通 信 事 務 經 理 二 郎 門 田 公 司

手 公
向 律 師 台
出 寄 箱
送 入 書 信

幕 末 文 書

めくれず

(控)

房簿一六一六號

田卷

昭和五年十月廿日

共第二號

燈臺局

東京電信試験執行地御中

電信用器検査ニ関スル件

対東京電事局ヨリ十月十日

本件別紙ノ通リノ如ク

別紙省畧

横別納

裏面白紙

裏面白紙

東試第四次號

昭和五年十月十六日

東京中央電信局

東京電信試驗執行地

千葉縣野島郡新橋町中

電信用器械並ニ電池教ニ関スル件

事務上必要有之候条、貴局保管ニ係ル電信用器械並ニ電池教別紙調書ニ御記入ノ上、回報相成度候。

追而本調書ハ昭和五年九月末日現在教申記入被下度為念

拾月二十日受收

人云々

裏面白紙

九月五日

海軍

昭和五年十月十五日

橫須賀海軍工廠電氣工場

野島塔燈臺中

修理品送付用紙

海軍特別大演習為備用電氣修理完竣本日
小包便り以青島光郵送候承御查收相成後
追力現品御查收上現品受領證御書後候相煩為

左記

一 手働小型電錠

電個

一 挿

栓 電活用

電個

終

裏面白紙

昭和五年十二月十日

野島崎燈臺

共第二號

燈臺局

横須賀海軍工廠造兵部電気工場中

修理品受領一件

左記修理品正受領致矣間及即通知矣也

記

一年働小型電錠

一押

栓

毛拵用

壹個
壹個

横別納

裏面白紙

水五第六一九號

昭和十二年十二月十四日

野島崎燈臺看守長殿

水部第五課長

十二月十四日付

(密井納)

毎々御多忙中首願記録ノ御送付ニ預リ御察ヲ以テ貴重ナル資料ヲ得
候段深謝致儀
然々ハ明年度所必要記録用紙等左記ノ通送付致儀俾可然細望相煩ハ
シ度御通知傍及御依頼候

- | | | | |
|----|--------|----|----|
| 一、 | 紙象月報用紙 | 一、 | 五枚 |
| 一、 | 紙象年報用紙 | 一、 | 三枚 |
| 一、 | 封筒 | 一、 | 五枚 |
| 一、 | 登録郵券 | 一、 | 三枚 |
| 一、 | 四録郵券 | 一、 | 一枚 |

(終)

第

號

海軍

裏面白紙

共第三號

發 臺 局

分對第一〇三號

回 友

昭和十二年十月廿四日

野島靖隆 局長 啓

水陸部第五課長 殿

應託氣象觀測記錄用紙交領件

計北支才一九年(青島)兩期

如件御送附、右書類用紙及郵便切手札紙、
記 以言也

一、氣象用紙

拾五枚

一、合 年報用紙

三枚

一、封 筒

拾五枚

一、參錢郵便切手

拾參枚

一、四錢郵便切手

七枚

以上

第

裏面白紙

共第三號 檢 察 局

昭和拾五年貳月拾六日

野島瑞澄台長 田口吉郎

水路部 中

氣象日報用紙外之費及領、件

左記用紙類正之費及領、件

一、氣象日報用紙 一五枚

一、氣象年報用紙 三枚

一、日誌切手 八枚

一、檢査切手 四枚

備考(封筒、未着、付至急送付相成度也)

第 張

裏面白紙

昭和拾五年壹月貳參日

本 五 第 四 〇 六 號

昭和十四年一月十九日

水 路 部 第 五 課 長



野 島 崎 燈 臺 長 殿

氣象資料送付ノ件依頼

首題ノ件ニ關シテハ毎々多大ノ御盡力ヲ預リ深謝致候 就イテハ本年
一月以降引續キ氣象月(年)報ノ御送付ヲ得度別紙(寫)ノ通燈臺局
長宛依頼致候條可然御取計ヲ得度
追而用紙類及郵便切手左記ノ通送付致候

記

一、氣象月報用紙

一五枚

一、氣象年報用紙

二枚

第

號ノ内

第

號ノ内

封筒	筒	五枚
封筒切手 (四圓分)		八枚
封筒切手 (書留料四圓分)		四枚

但昭和十五年分

(終)

裏面白紙

五枚 但昭和十五年分

八枚

四枚

四分

(終)

昭和五年一月十九日

水路部第五課

上記中封筒ハ後日送付可致候

裏面白紙

水第五四〇一號ノ七

昭和十四年十二月十九日

寫

水路部 長

燈臺局長 殿

氣象資料送付ニ關スル件依頼

昭和七年以來貴管下別紙燈臺ヨリ送付ニ預リ居候左記氣象資料ハ當部
作業上裨益スル處不尠深謝致候 就テハ更ニ詳細ナル調査ノ要有之候
條昭和十五年一月以後二箇年間引續キ送付方御配慮相煩度
追テ右ニ要スル用紙類及郵便切手ハ從來通直接各燈臺宛送付可致候
條御了承ヲ得度

記

一、氣象月報

第 號ノ内



裏面白紙

一、氣象年報

(別紙略)

(終)

第

號
ノ
内

共第二號

燈臺局

昭和十五年四月十八日

昭和十五年四月貳拾日

豫而送付致置候海洋觀測報告用紙最早拂底ノ
項ト存候條左記ノ通り送付候也

記

一定地觀測報告用紙 丙 十五枚

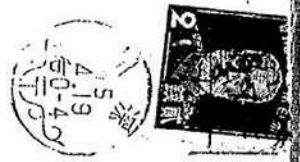
一封 筒 十五枚

四百五十日本手個用 要領書 推考
摺書

47

表紙二號

燈 塔 原



東京市京橋區月島三號地
水産試験場

内申

千葉安房郡白浜町
野島塚灯台

裏面白紙

めくれず

裏面白紙

第四五 冊

角

昭和拾五年 參月 卅壹日

野島 勘 登 台 長 田 口 吉 郎

修台局長 景山 雄吉 殿

需託設置場内修築並架空線埋設之事件

（修工事第一一八七号）（一五、三、三）
（関解）（修工事第三五号）（一五、三、三）

本件工事之南に千葉工務出張所技術員、指示を以て別紙
一通に経費の要するに及ばぬ経伺、暇ナク専決の上、施工
候に付事後御承認相成度

昭和十五年三月廿一日付書状（代印）
昭和十五年四月廿六日付書状（代印）
代印 橋本 謙
見 橋本 謙

共第三號

燈 臺 局

見積書

金 12100

見積高

1名外見積書提出者

内

譯

見積人 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
石 工		1人	2400	2400	配線渠岩築込用
人 夫		2人	1500	3000	線渠埋充用不少運搬
杉 板	長6尺 巾8寸 厚6分	2枚	1000	2000	壁線渠用
ゴムクレテ		7巻	500	3500	鉛被覆覆電線用
紙クレテ		3巻	400	1200	合 計
合 計				12100	

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

昭和15年3月30日

燈臺局御中

千葉県安房郡白濱町島崎

不曾直次郎



會第三十九號

裏面白紙

裏面白紙

三五

局

昭和三十五年參月卅壹日

共第二號

燈 臺 局

新島崎燈台在勤員新田田郎
新島崎燈台燈台長田口吉郎
燈台局長山澤吉殿

遷設設置場計移轉並架設線埋設工事件

附燈台第一二七号通牒(一五、三、二六)

本件于参月参日出展折技術員主會、上別紙在持書
及圖面、通、該工候

尚午参之務計技術員、指示、要、之、几、經費、ハ、終、同、
、通、上、別、紙、通、事、決、上、施、工、候、付、事、後、印、承、認、
相成致

記

昭和十五年 三月三十日

着手

昭和十五年 三月三十日

成

昭和十五年三月三十日
新島崎燈台局長
田口吉郎

野島崎燈台公衆専用電線地下埋設工事仕様書

一 公衆専用電線地下埋設工事

仕様

一 本件別紙圖面ノ位置ニ左記ノ工作順序ニテ施行ノコト

ニ 先ツ在座ノ一ノ。乾線被線ハ各一條毎ニクレターヲ

纏繞シ防腐劑クレオソートヲ塗布シ更ニ四條ヲ一纏メトシ

レクレターヲ纏繞再及クレオソートヲ塗布地下線ノ位ニ付テ

三 地下線渠ハ最モ一ノ。同書添附圖面ノ寸法大ニ松板ニテ製

作内外共防腐劑ヲ塗装ノコト

四 在線渠内ニ砂ニテ(一)ノ被線ヲ填充之レニ覆

蓋ヲ施スコト

五 其他因障貫通ヶ所ノ工作並ニ地下埋設部ノ深

及ハ同書添付仕様書ノ通り施行ノコト



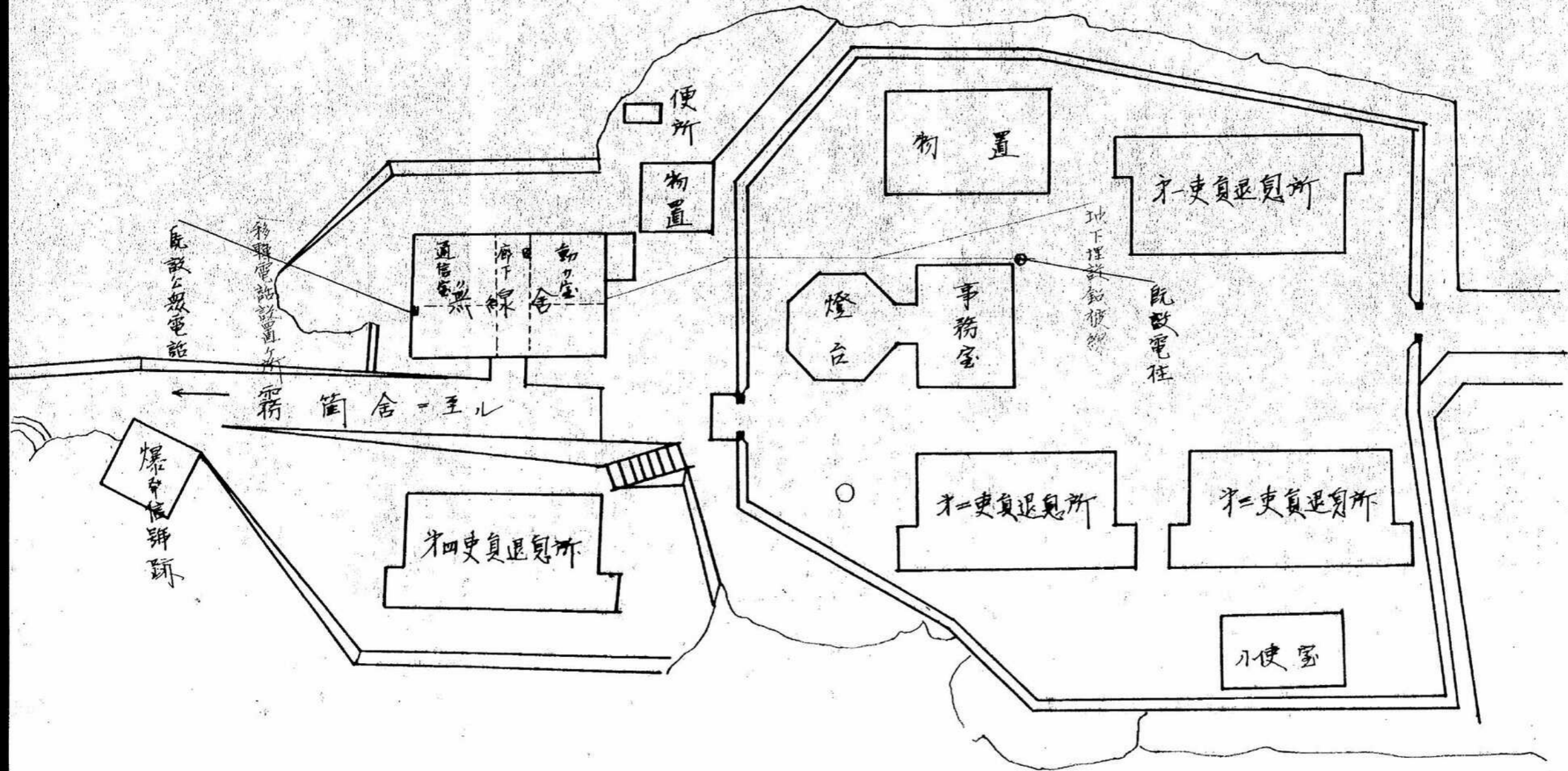
大以上ノ工事ハ東京地方逓信局ノ奉工務課出張員
ノ指揮ニ俟ツル
九之通ニ候也

昭和十五年三月廿一日

在勤員 標識技手 新田 四郎
燈台長 標識技手 田口 吉郎

燈台長 早山 準吉 殿

電話移轉設置所設計圖



裏面白紙

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

見積書

一名外見積書提出旨ナシ

金

42 40.5

保架装置外ニ見積高

内

譯

見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
保架装置	規格品	1組	36.00	36.00	電話器保安用
クレオライト	工業用	1.5箱	0.27	4.05	線架及配線架用
石	王	1人	240	240	線架埋設用
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

1955年 3月 30日

燈臺局御中

千葉縣安房郡白浜町島崎

木曾直次郎

會第三十九號

裏面白紙

裏面白紙

燈臺局

工午第一七五二號

許可書

燈台局長

電話線供給一件

昭和十五年三月六日申請ノ電話線供給一件 東京地方
逓信局長ニ於テ許可ヲ奉候

昭和十五年三月二十七日

東京地方逓信局 牛峯工務出張所 所長

四月十二日奉命ノ逓信局長



裏面白紙

燈臺局

工午第一七五三號

昭和十五年三月二十七日

東京地方通信局午業工務出張所

燈台局申

電話線供給一件

昭和十五年三月六日申請ノ電話線供給一件別途許可
於年候ニ付テハ工事竣工ノ上ハ当所經由竣工届提出
於年友

四月十二日書入付書

君引合五年參月卅日

燈臺局 共第十五號ノ二

燈工第一一八七號

通牒

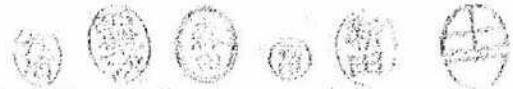
昭和十五年三月廿六日

工務課

野島崎燈臺 御中

電話線路移轉ニ關スル件

本件ニ關シ別紙供給申請書ヲ遞信局長宛ニ提出致候條千葉工務出張所ト打合セノ上可然取計ニ相成度尙館山局トノ直通電話機ノ構内移轉ハ千葉工務出張所ニテ施工可致通知有之候條御了知相成度



裏面白紙

寫

電話線供給申請書

一 電話番號 由濱局 一九番

二 機械設置場所 野島崎燈臺

三 供給物品ノ種類及數量 鉛被線延長一〇〇米 (添付見本ノモノ)

四 供給ノ必要トスル理由 架空線ニテハ無線ニ影響シ支障アルニ依リ地下式ニ變更スルモノトス

五 供給ノ方法 使用中供給 (所有物留保ス)

六 工事方法 別紙ノ通り

七 維持方法 燈臺内施設線ト共ニ維持マナス

八 工事擔當者 野島崎燈臺 田 口 吉郎

備考

右電話規則第二十七條ニ依リ供給致度供給物品添付申請候也

昭和十五年三月六日 横濱市中區北仲通六ノ六四 燈臺局

東京地方遞信局長 殿

燈臺局

裏面白紙

寫

工事方法

一、構内ニ既施設ノ地下「トラフ」内ニ「六〇」耗單線鉛被線四條
 ヲ布設シ配線函ニ於テ外線ト接続スルモノトス
 但「六〇」耗單線鉛被線ハ各一條毎ニ「クレーター」ヲ纏捲
 シ更ニ四條ヲ一纏メトナシ「クレーター」ヲ纏捲スルモノ
 トス

燈 臺 局

裏面白紙

昭和拾五年貳月壹日

燈臺局 共第十五號ノ二

燈工第三二七號

通牒

昭和十五年一月卅一日

工務課

野島崎燈臺御中

電話設置場所移轉並電話線埋設工事ニ關スル件

對房野第九號（一月二十日）伺

本件金參拾六圓貳拾參錢ヲ以テ認可セラシム

裏面白紙

裏面白紙

九

伺

昭和十五年一月二十日

野島越燈台長 田口吉郎

燈台局長景山幸吉殿

電話設置場所移転並電話線埋設工事関係件

関係 房野第一号(一四二二三)
電話線埋設工事関係紙回答(一四二二六)

本件其後館山局ヨリ急ヤ移転ニ関ルニ標再三電話申出有之依リ至急
何分ノ御既慮願上度 去方午既済次第館山局ヨリ技術員派去之
由ニ候就テハ客年十二月六日附紙御指示ニ従ヒ在庫一六耗銀
被線使用別紙仕様書及圖面ノ通り概算調書ノ費額ヲ以テ施
工致度候

共第二號

印

蓋

局

燈 臺 局

概算調書

金三十六円三十三銭也

野島崎燈台専用電話設置場所移動並公眾用電話線埋設工事費額概算高

金三十一円七十三銭也

材料費

内訳

品名	品質	形状	寸法	数量	單價	合價	備考
板			厚六分 長十二尺	八枚	〇.八〇	六四〇	線架蓋用
同			厚五分 長十二尺	二四	七〇	一六八〇	線架蓋用
碑子			高一分 長一分	五〇個	〇.五	二五〇	配線用
鉄捻子			長一分	五〇	〇.六	三〇〇	碑子止用
入上下線			鉄線入絶緣被覆	三味	〇.八	二四〇	配線用

鐵丸釘 長一寸五分
 金四圓五拾錢十
 職工費

職名 摘要
 員數
 單價
 今價
 備考

電工	配線其他	一人				所費施工
人夫	線渠掘其他	三人	一五〇	四	五〇	別處取費最低價十分
人夫	午博用	三人				一使博用

右之通候也
 昭和十五年一月三日

野島埼燈臺

在勤員 標識技手 新田四郎
 燈台長 標識技手 田口吉郎

燈台局長 早山 隆平 吉殿



見積書

金 36 23

見積高

最終價格

内

譯

見積人 2 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
松板	厚 8分 中 5分 長 12尺	8枚	0 80	6 40	線桿蓋用
同上	厚 6分 中 4分 長 12尺	24枚	0 70	16 80	線桿管用
碍子	径 1寸 高 1寸7分	50個	0 05	2 50	配線用
鉄捻子		50個	0 06	3 00	碍子止用
バイソド線	鉄線入被覆	30米	0 08	2 40	配線堅縛用
鉄丸釘	長 1寸5分	15個	0 42	0 63	線桿製作用
人夫		3人	1 50	4 50	線桿用其他雜用
合計				36 23	

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

15年 1月 20日

燈臺局御中

千葉県安房郡白濱町島崎

木曾直次郎

會第三十九號

裏面白紙

見積書

金 37,895

見積高

内 譯 見積人 二人

品名又は名稱	品質仕様又は摘要	數量	單價	小計	備考
松板	厚 6分 長 12尺	8枚	0 850	6 840	線渠蓋用
同上	厚 6分 長 12尺	24枚	0 720	17 280	線渠管周
碍子	径 1寸 高 1寸7分	50個	0 060	0 000	配線用
鉄槍子		50個	0 065	0 250	碍子止用
バインド線	鉄線入被覆	30米	0 085	2 550	配線堅縛用
鉄丸釘	長 1寸5分	150個	0 450	0 675	線渠製作用
人夫		3人	1 500	4 500	線渠掘用其他雜役用
合計				37 895	

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

15年 / 月 20日

燈臺局御中

千葉県安房郡白浜町

星野徳三



會第三十九號

裏面白紙

野島崎燈台公衆専用電話線地下埋設工事仕様書

一 公衆専用電話線地下埋設工事

右仕様

一 別紙圖面ノ通り左記要項ニ依リ施行ノコト

一 便用鉛被線ハ一、七純線(在庫品)ヲ便用ノコト

一 埋設地ハ全部軟石盤ニシテ深ク堀込リ要セザルニ付

線渠上約五寸ノ土砂ヲ覆フ程友ニ堀下ゲノコト

一 線渠内ハ各三三尺ノ間隔ヲ以テ取付ケタル碍子内面

ニ鉛被線ニ條宛引込シムト

一 右碍子ハ内法内側ヲ各内面ニ向ケ交又状ニ突出セシムル

一 圍障貫通部分ハ圍障下ハ約三寸ノ深サニ堀抜キ

通線(線渠ヲ用ヒズ)圍障土留「コンクリート」ト垂直部分

約二〇尺ハ全「コンクリート」ト表面深ニ寸ニ打毀シ線埋設



表
面ノミナシニテ淺ト
込メノコト

右ノ通ニ修也

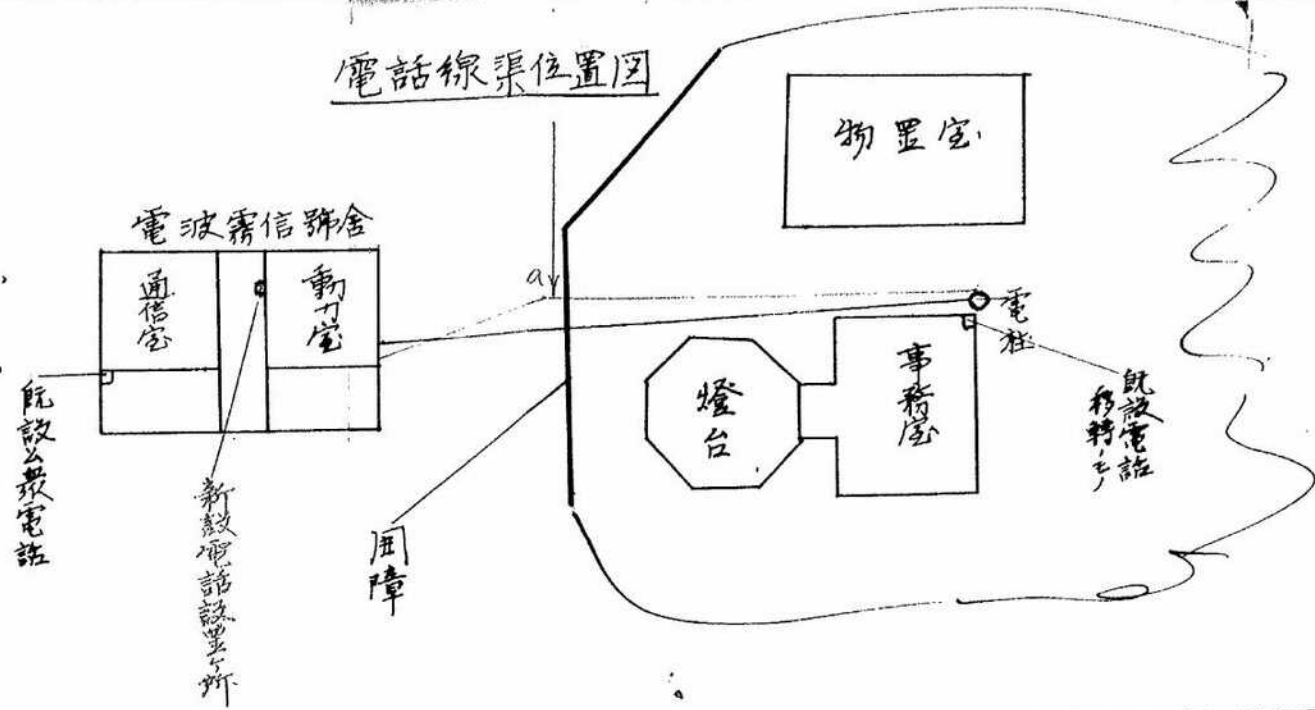
昭和十一年十月二十日

在勤負標識持年新田部

燈台長名 田口吉郎

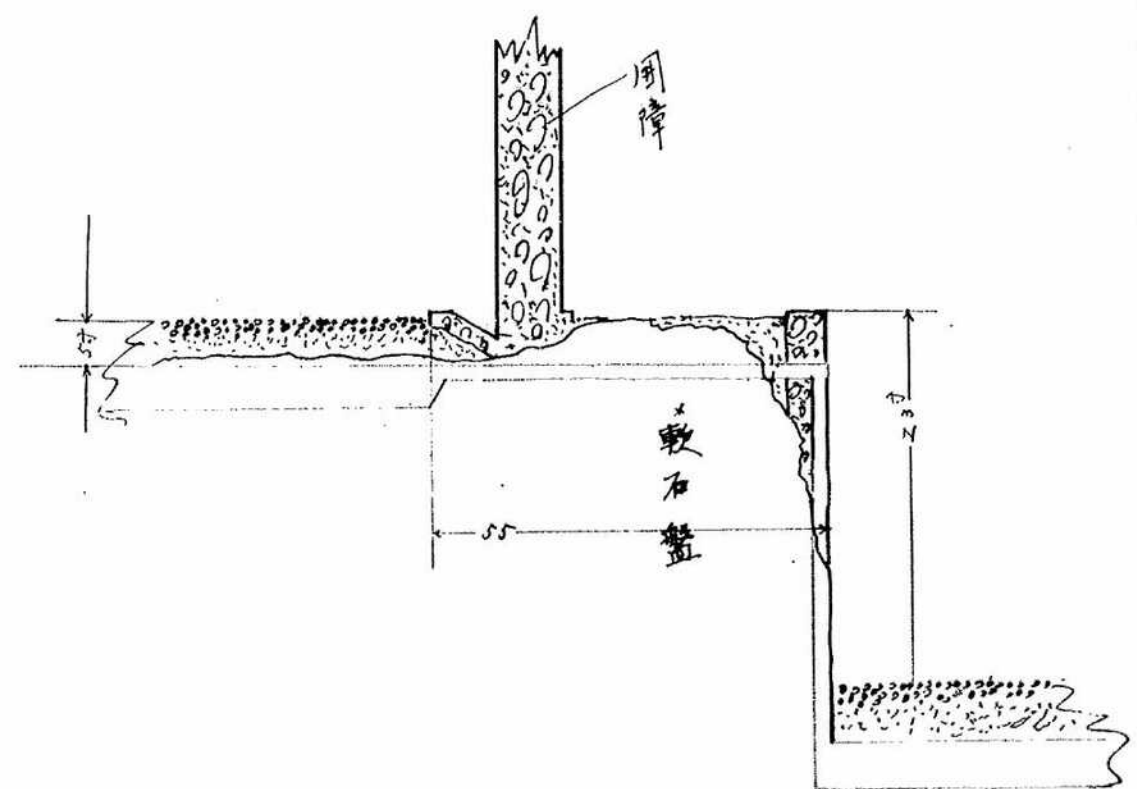
燈台局長 景山 準 吉 殿

電話線渠位置図

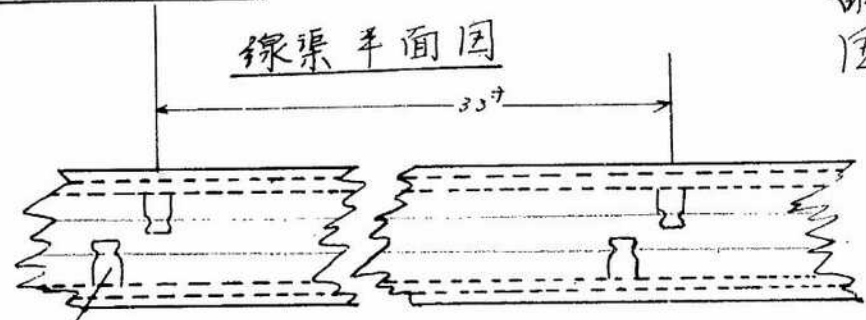


電話設置場所移轉並電話線埋設工事略図

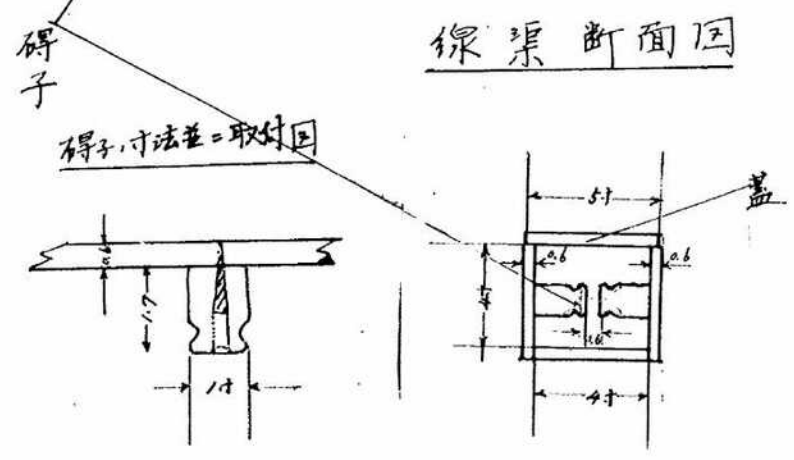
a-a 用障子側断面図



線渠平面図



線渠断面図



裏面白紙

めくれず

昭和十五年一月十七日

燈臺局 共第十五號ノ二

燈工第二五〇號

通牒

昭和十五年一月十七日

工務課

野島崎燈臺御中

電話設置場所移動ノ件

對房野第一〇一號（一四一三、一三）

本件ニ關シ申出ノ次第有之候處當該關係當局トノ都合モ有之電話
線埋設工事ノ際可然現地ニ於テ處理相成度尙右埋設工事依頼ニ關
シテハ手配濟爲念

裏面白紙

裏面白紙

共第二號

燈臺局

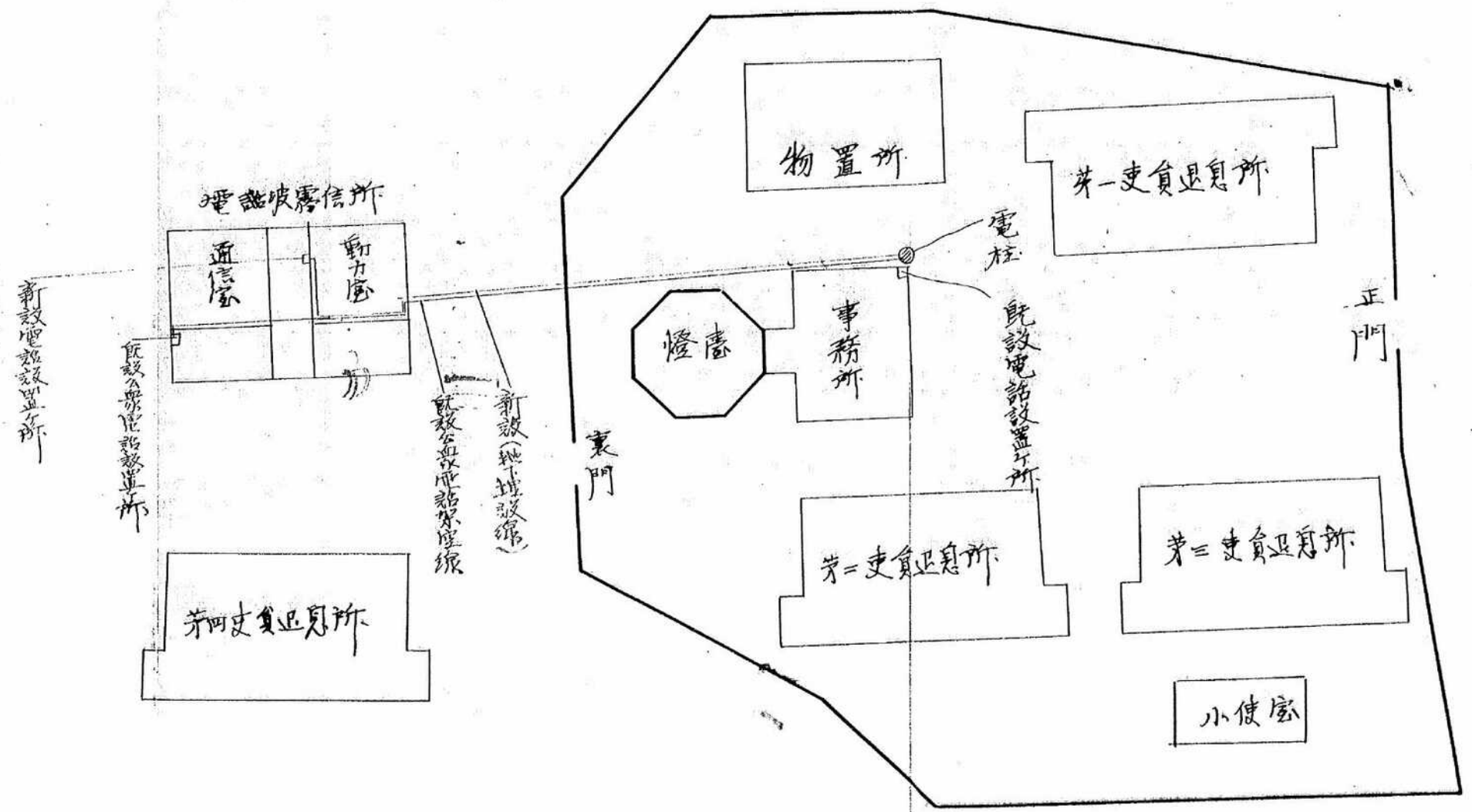
燈台局長景山雅志殿

野島崎燈台長田口吉郎

燈台設置場所移動件

館山郵便局直通専用電話ハ現在燈台事務所ニ設置シテモ同所ハ常時執務シテ居ラ
 ズ通話上相互不便ヲ感シ居候如キ事々發生以來屢々防空訓練際ハ本電話ハ警
 報傳達上最モ重要ナル様當レニ不拘別紙圖面ノ箇所在、同係上其初度電話事
 務者直者之増置スル要アリ業務上モ不助不便且ツ又般館山郵便局長ト會見
 際電話様移動方中モ相之候ニ就、別紙圖面米線ノ如ク移動致度可也、併テ願上候
 由向本電話移動箇取付及既線ハ量取或紙回答(十一月六日付)ヨリハ公衆用
 電話線埋設工事ト同時ニ施工致度本件法手配請御通牒ノ待テ工事材
 料配線請用木材其他見積ヲ徴シ伺出度

横濱



01
2
3
4
5
6
7
8
9
10

裏面白紙

十二月七日

野島埼燈台御中

十二 十四

工務課

課長



タンカー充電器ニ関スル件

本件特便ヲ以テタンカーガレージ四個送附致候間道者ニ使用相成度ニ
尚使用電力ニ関シテハ所懸電力会社ト打合セ、上更ニテ同出相成度ニ

電話線埋設工事ニ関スル件

本件物資不足、折カラ本局ヨリ早急ニ材料配給ヲ行フ事ハ困難ナレ故貴台
在庫品（一巻式ニシテ船被線）之有缺ハハ南洋官ト打合セ、上一時流用相成度
尚線深ハ電力線ニ深クシテ之ト一諾ニ引込ハ危儀ヲ伴フコトアルヤト考ヘテ候間
別ニ木製線深ヲ埋設シ之ニ得子ヲ取付、鉛被線ヲ浮カシテ取付ケル様也取計
相成度

（貴台ニハ方向探知器用船被ケブル之有候向之ニ使用セザル様也注意ス度）

燈台長口頭照会

十四
十一
一

野島嶺燈台

裏面白紙

燈臺局

六七 報告

昭和十四年九月十七日

左勸負 標識 杉本 誠

燈台長 相川 東一

燈台局長 景山 準吉 殿

電話架設之圖文件

本件在月八日開通(白旗十九番) 致候

追テ事務所側電柱、電線室間ハ鉛被線ニテ地

下線ノ下ニ交差シテ解テ得置候モ在月八日

架設ニ當リ在特種工事ニ其^中請書ヲ提出スル

ニアラザレバ不可能ナリ以テ此ノ際被覆線ヲ使用

架定線ヲ施行シ開通後半續^中取次^中旨申出

有之候^中付^中止^中得^中在^中通^中施行^中候^中条^中承認^中相

成^中為^中別^中紙^中申^中請^中書^中字^中添^中付^中候^中付^中可^中然^中半^中續^中



9/9

燈工第三八八八號

通牒

昭和十四年九月八日

工務課

野島埼燈臺御中

電話機取付用板購買ノ件

房野第五八號（八月廿九日）伺

本件金貳圓ヲ以テ認可セララル

燈臺局 共第十五號ノ三

裏面白紙

九月九日購買
ノ口代金
九月廿七日代金
九月廿七日代金
九月廿七日代金

1.4

燈工第三九二二號

通牒

昭和十四年九月二日

燈臺局 共第十五號ノ三

工務課

野島埼燈臺 御中

電話架設ニ關スル件

本件ニ關シ夔ニ視察員ト協議打合セ通貴臺無線當直室ニ設置スル見込ヲ以テ貴臺保管中ノ六六耗鉛被線ヲ可然拂出シ右架空線ヲ地下線トシ無線方位信號測定上遺憾ナキヲ期セラレ度

裏面白紙

53

裏面白紙

共第二號

燈臺局

五八

同

昭和十四年八月十九日

燈台局長殿

野島崎燈台局長

電話帳取付用表購買件
本件別紙見積書金額ヲ以テ購買致
度

横判紙

見積書

金 2,000

杉板見積高

内 譯 見積人 / 人

品名又ハ名稱	品質形狀寸法 仕様又ハ摘要	數量	單價	小計	備考
杉板	小 長6尺中9寸五分 厚7分5厘	1	200	200	終台附
合計					

上記燈臺局契約規程承諾ノ上見積候也

14年8月28日
燈臺局御中

千葉縣安房郡白浜町
木曾誠



會第三十九號

裏面白紙

昭和拾八年六月廿日

庶務外

昭和十八年六月十八日

白濱町長 早川 嘉七 衛門

野島崎燈臺長 殿

昭和十八年上期賞與國債支給状況報告ニ関スル件候
首題ノ件安房地方事務所長ヨリ調査方通牒有之候
ニ付テハ別冊実施要綱ニヨリ支給状況報告書ニ記入
上本月三十日迄當所役場ニ申提出相煩度此段
及通知候也

昭和拾八年六月廿七日 報告書提出ス

昭和十八年八月廿日

昭和十八年八月廿日
 閣下ノ賞與支給實施要綱
 閣下ノ賞與支給實施要綱
 閣下ノ賞與支給實施要綱
 閣下ノ賞與支給實施要綱

昭和十八年八月廿日
 閣下ノ賞與支給實施要綱

昭和十八年上期賞與國債支給實施要綱

國民貯蓄ノ増強ヲ圖ル爲昭和十三年以來引續キ賞與國債支給ノ實行ヲ求メ多大ノ効果ヲ收メ來リタル處本年上期ノ賞與支給ニ當リテモ更ニ之ガ普及徹底ヲ圖リ以テ統後國民ノ重大資務達成ニ邁進セントス

一、國債（國債貯金ヲ含ム以下同ジ）貯蓄債券又ハ報國債券支給標準
 國債、貯蓄債券又ハ報國債券ヲ以テ支給スベキ金額ハ原則トシテ左記割合ニ依ルコト

與額	臨時給與ヲ含ム	國債、貯蓄債券又ハ報國債券支給標準	扶養家族ナルモノ	扶養家族ナキモノ
一〇〇圓以下	同	賞與額ノ一五%	同上	賞與額ノ三〇%
二〇〇圓以下	同	同 二〇%	同上	同 三五%
五〇〇圓以下	同	同 二五%	同上	同 四〇%
一、〇〇〇圓以下	同	同 三〇%	同上	同 四五%
一、〇〇〇圓ヲ超ユルモノ	同	同 三五%以上	同上	同 五〇%以上

備考
 上、右支給基準ハ最低ヲ示シタルモノナルコト

日本銀行
支店
東京
支店
大阪
支店
神戶
支店
名古屋
支店
京都
支店
福岡
支店
仙台
支店
札幌
支店
旭川
支店
釧路
支店
帯広
支店
青森
支店
岩手
支店
宮城
支店
秋田
支店
山形
支店
福島
支店
茨城
支店
栃木
支店
群馬
支店
埼玉
支店
千葉
支店
東京
支店
神奈川
支店
新潟
支店
富山
支店
石川
支店
福井
支店
山梨
支店
長野
支店
岐阜
支店
愛知
支店
三重
支店
滋賀
支店
京都
支店
大阪
支店
兵庫
支店
奈良
支店
和歌山
支店
徳島
支店
香川
支店
高松
支店
愛媛
支店
高知
支店
福岡
支店
佐賀
支店
長門
支店
山口
支店
徳島
支店
香川
支店
高松
支店
愛媛
支店
高知
支店

- 2、當該職域並ニ賞與受給者ノ實情等ヲ勘案シ合理的ナル支給ノ勵行ニ努ムルコト
- 3、自己所有家屋ヨリ通勤スル者、扶養家族ナキ者ニシテ父兄等ヨリ扶養ヲ受クル者等ニ對シテハ右支給標準ノ五割以内ノ増率ヲ用フルコト
- 4、五人以上ノ扶養家族ヲ有ル者、長期ニ亘リ介護ヲ要スベキ病者又ハ不具廢疾者ヲ有スル者、子弟ヲ勉學セシメ學費ノ仕送りヲ爲シ居ル者等ニ對シテハ實情ニ依リ右支給標準ノ五割以内ノ減率ヲ用フルモ妨グナキコト
- 5、賞與ノ一部ヲ以テ拂込ム豫定ヲ以テ契約シタル保險料(當該生命保險料ノ拂込ヲ他種ノ國民貯蓄組合ノ貯蓄トシテ實行スル者ヲ除ク)ノ拂込ヲ爲ス者又ハ負債ノ償還ヲ爲サントスル者ニ對シテハ賞與額中ヨリ拂込金相當額若ハ償還金相當額ヲ控除シタル金額ヲ基本トシテ右支給標準ヲ適用スルモ妨グナキコト
- 6、以上ノ場合ニ於テモ單ニ本人ノ申出ノミニヨリ之ヲ適用スルコトナク責任者ニ於テ其ノ事實ヲ確認シタル後之ガ承認ヲナスコト
- 7、會社經理統制令等ノ法令ニ基キ賞與中其ノ一部ヲ國債等ヲ以テ支給シ之ヲ會社ニ於テ保管スル場合又ハ當該會社ニ於ケル國民貯蓄組合ノ貯蓄トシテ國債等ヲ購入セシメタル場合ニ在リテハ賞與額ニ對シ右支給標準ニ依リ算出シタル金額ヨリ其ノ支給又ハ購入金額ハ差引クモ妨グナキコト
- 8、右支給率ノ適用ニ依リ算出シタル金額ニ四位未満ノ端數ヲ生ジタル場合ハ其ノ端數ノ切上ヲ爲スコト

二、實施方法

- 市町村ニ於テハ本要綱ニ基キ所轄地方事務所及警察署等ト協力シ管内官公署(縣所屬ノモノヲ除ク)學校、會社、工場、鑛山、産業團體共ノ他各種團體等ニ對シ概ネ左ノ要領ニ依リ勸奨ヲ行フコト
- 但シ工場、鑛山ニシテ勞務者數三十人以上ノモノニ對シテハ縣勸勞課ヨリ直接勸奨ス
- (イ) 管内官公署、事務所、營業所、工場、事業場等ニ對シ其ノ代表者ノ會合ヲ催シ本要綱及支給狀況報告書ノ配付ヲ爲シ或ハ常會ノ利用、文書等其ノ他適切ナル方法ニヨリ趣旨ノ徹底ヲ圖リ積極的ニ協力ヲ求ムルコト
 - (ロ) 官公署、事務所、營業所、工場、事業場等ニ實行委員ヲ設ケ強力ナル推進ヲ圖ラシムルコト
 - (ハ) 賞與ニ依リ支給スベキ國債、貯蓄報國債券ハ本廳又ハ本社ニ於テ一括購入スルコトナク夫々其ノ所在地ニ於テ最寄ノ郵便局又ハ金融機關ヨリ購入セシムルコト

日本勸業銀行

(ニ) 既往ノ成績不良ナリト認メラル、向ニ對シテハ個別的ニ其ノ原因ヲ檢討シ必ズ所定ノ支給標準以上ヲ實行スル様指導督勵スルコト之ガ爲必要アル場合ハ翼賛壯年團其ノ他各方面ノ協力ヲ求ムルコト

(ホ) 本運動ノ實施ニ當ツテハ大會社、大工場ノミニ限ルコトナク一般的ニ實行セシムルコト各種團體竝ニ其ノ他關係方面トノ連絡ヲ密ニシテ協力ヲ求メ本運動ノ成果ノ萬全ヲ期スルコト

(ト) 支給シタル國債、戰時債券ニ付テハ無料保管制度ノ利用ニ依リ換價防止ノ措置ヲ講ゼシムルコト

(チ) 本運動ニ依リ支給スベキ國債、戰時債券ハ隣保消化分ヨリ之ヲ充當セザルコト
(リ) 證券ノ配給ヲ圓滑ナラシムル爲國債又ハ戰時債券ヲ支給ヲ爲スモノニ於テハ別記様式ニ依ル國債、貯蓄債券、報國債券購入申込書ヲ國債ニ在リテハ最寄郵便局へ、債券ニ付テハ日本勸業銀行千葉支店若ハ債券賣捌機關宛提出セシムルコト

三、報 告

1、官公署、會社、事務所、營業所、工場、事業場等ニ於テハ賞與支給後速ニ別紙賞與國債支給狀

況報告書ヲ市町村ヲ經テ知事ニ提出スルコト但シ資本金一千萬圓以上ノ會社ノ事務所、營業所ニシテ役員及職員ノ數當時百人以上ノモノ及工場、事業場ニシテ勞務者數當時千人以上ヲ使用スルモノニ在リテハ右報告書ハ二通トス

2、市町村長ハ前記ノ報告書ヲ取纏メ町村ニ在リテハ地方事務所ヲ經テ知事ニ提出スルコト

四、其ノ他

1、本實施要綱ニ基キ支給セラレタル國債、貯蓄債券又ハ報國債券ニシテ其ノ職域ニ於ケル國民貯蓄組合ノ臺帳ニ記載シ郵便官署ニ保管ヲ委託シ又ハ登録ヲ爲シタルモノ、外ハ當該國民國民貯蓄組合ノ貯蓄額ノ内ニ包含セシメザルモノトス

2、印刷能力若ハ無料保管ノ幅狭等ヨリシ小額證券ノ發行減縮セラレツ、アル現狀ニ鑑ミ國債、戰時債券ノ支給ニ當リテハ出來得ル限り大額面券ニ依リ證券ノ枚數ヲ少ナカラシムル様留意スルコト

3、賞與國債支給標準ニ依リ算出シタル額ガ國債又ハ貯蓄債券、報國債券ヲ支給スルニ滿タザル金額(尙例ヘバ(一)ノ標準ニ依リ算出シタル金額ガ三百圓ニシテ國債百圓券ヲ三枚支給シ六圓ノ端數ヲ生ズルガ如キ場合ヲ含ム)ニ付テハ之ヲ當該職域ニ於ケル組合貯蓄ト爲サシムルコト

4、縣ハ本運動ノ効果アラシムル爲必要ニ應シ縣下主要官公署、會社、工場、事業場等ノ代表者ノ會合ヲ求メ協議會ノ開催又ハ推進隊ノ派遣ヲ爲スモノトス

六

様式甲

國債購入申込書

所在地

官公署、學校、事務所
營業所、工場、事業場名
代表者又ハ管理者氏名

何郵便局長殿

一、國債ノ購入總額

内 譯

割引十圓券 (賣出價格 七圓)

枚

五十圓券 (賣出價格 四十九圓)

枚

同 二十圓券 (同 十四圓)

枚

百圓券 (同 九十八圓)

枚

同 三十圓券 (同 二十一圓)

枚

五百圓券 (同 四百九十圓)

枚

千圓券 (同 九百八十圓)

枚

二、購入豫定期日

月

日

七

様式乙

貯蓄債券、報國債券購入申込書

所 在 地
官公署、學校、事務所
營業所、工場、事業所名
代表者又ハ管理者氏名

日本勸業銀行千葉支店長殿
又ハ戦時債券賣捌金融機關宛

一、貯蓄債券、報國債券購入總額金

圓也

内 譯

貯蓄債券 七圓五十錢券 (賣出價格 五圓)

枚

報國債券十四圓券 (賣出價格 十圓)

枚

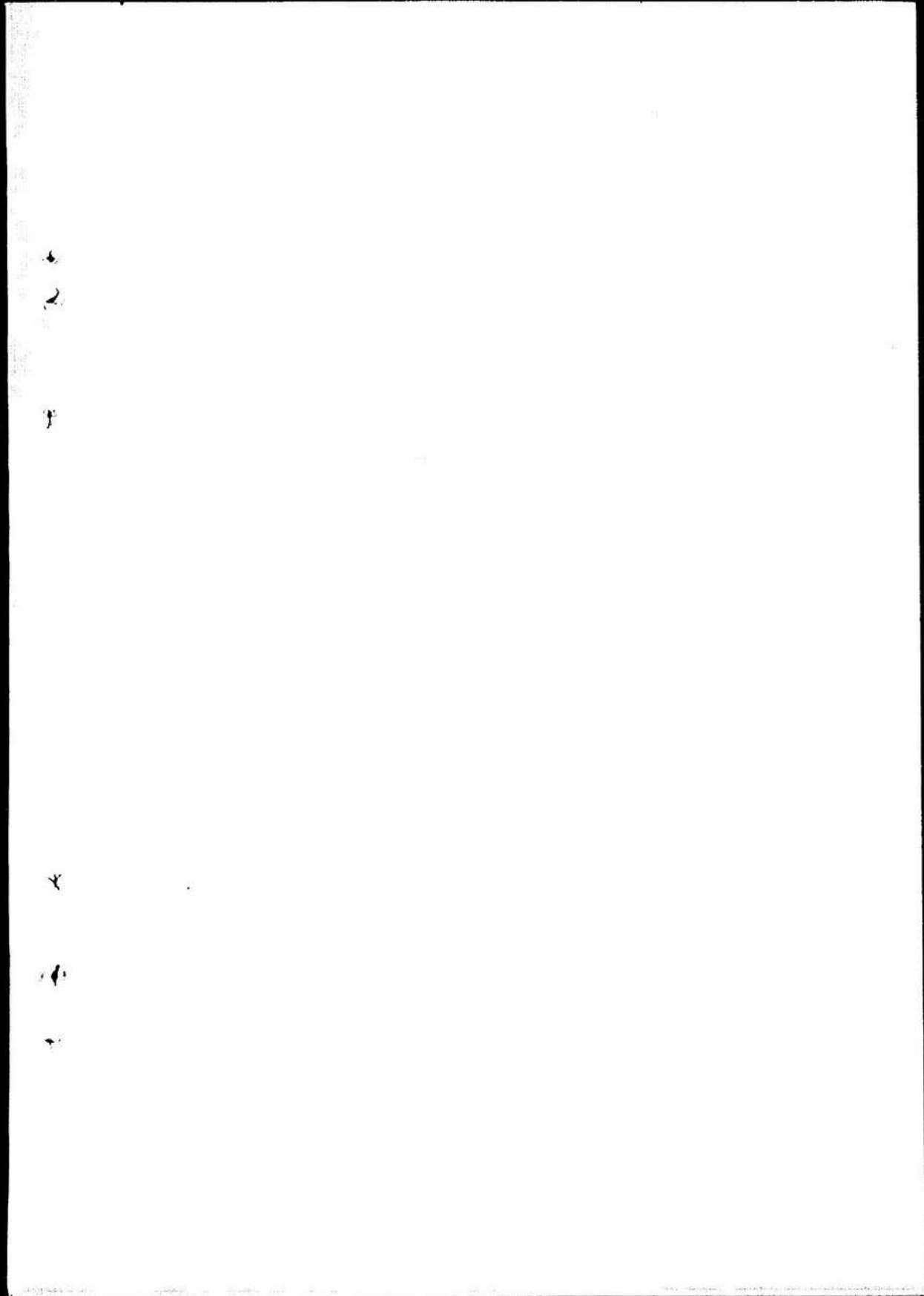
同 十五圓券 (同 圓)

枚

二、購入豫定期日

月 日

日本勸業銀行



裏面白紙

七

昭和拾九年貳月廿四日

燈臺局

野島坊燈臺

関東電機株式会社

千葉支店 館小燈臺業所 御中

契約担当者変更ニ関スル件

今般燈台局官制公布ニ伴ヒ左記通、契約官変更

相成矣ニシテ、当台使用電燈電力料金請求書宛

左記通、記載相成度

記

燈臺局 支店長 燈臺局長

號

號

裏面白紙

登記部三〇號

通 達

昭和十九年二月二十一日

昭和十九年二月廿四日

登記部 長

登記部 所長

殿

登記部 局 長

登記部官制公布ニ伴フ契締擔官更變更ニ關スル件

登記部官制公布ニ伴ヒ左記ノ通契締擔官更變更相成候ニ付キテハ
契締擔手續方ニ對シ其ノ旨通知方可然該計相成度
（註、契締專任無キ向ニ於テハ別段ノ處置ヲ要セス）

記

登記部 局 長

登記部 官 士 助

第 號ノ内

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

国立公文書館	
分類	③ ④
排架番号	3 A
	15
	62-15

62-15

